

Japan creation space monova（モノヴァ）は、モノづくりの情報発信をするショールームです。
日本各地のモノづくり企業、ギャラリースペースでライフスタイル提案型の企画展を開催しております。

今月のおすすめ ー夏のお晩酌を愉しむー



青白磁の透明感

手馴染みのよい、蒼爽そうそうの酒器と丸皿

焼き物の街『瀬戸』に1973年創立したセラミック・ジャパンは、当初より一貫したデザインポリシーのもと、才能あるデザイナーと瀬戸の伝統技術とのコラボレーションを行い、多くの製品を生み出しています。蒼爽のシリーズには、青白磁と黄磁の2種があり、monovaでは青白磁をメインにご紹介しています。型を使ったプロダクトでありながら、コロンと手に馴染む柔らかな形は老若男女使いやすい製品です。白の器は控えめでテーブルの名脇役となりそうです。

<価格> ※すべて税込価格

徳利 2,160円/盃 972円

丸皿（新作） 大 2700円/中 1,404円/小 1,080円

monova gallery 展示会案内

<現在開催中の展示会> 「はじめてのはだか麦展 2016」5/31（火）まで



6月2日(水)～6月14日(火)

shigaasa展 ～麻と暮らす2016～

見た目にも肌触りも爽やかな麻素材の寝装具で、気持ち良い生活をサポート！避けられない蒸し暑さとうまく付き合う、麻製品をご紹介します。



6月16日(木)～6月28日(火)

織物屋がつくる傘・日傘展

今年創業150年を迎える、山梨県・郡内織物（甲州織）メーカーの楨田商店。先染から生まれるこだわりの生地で作る、傘・日傘とレイングッズをご紹介します。



<お問合せ> Japan creation space monova 担当：川田

tel : 03-6279-0688 mail : info@monova-web.jp WEB : <http://www.monova-web.jp>

monovaでは各メーカーとの直接のお取り引きをサポートしています。
ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

讃岐はだか麦本舗 主催
「はじめてのはだか麦展 2016」を開催！
 2016年5月4日（水）～2016年5月31日（火）

玄米の約3倍、精白米の約20倍の食物繊維！食感楽しい“はだか麦”のご紹介です。
 昨年に続く2度目の今回の展示では、加工品が登場します！


 讃岐はだか麦本舗



国産大麦の首都圏PR展示会

業界初！玄米ならぬ玄麦のグラノーラ新発表

健康食材として知られる大麦。しかし大麦は、米の代用品として捉えられてきた時代も長く、未なおそうしたネガティブなイメージを持っている方も多いようです。この展示は、そうしたイメージを覆し、より手軽に身近に美味しく国産の大麦を食べてもらおうと活動をスタートした「讃岐はだか麦本舗」の製品をご紹介します。「讃岐はだか麦本舗」は香川県で育った大麦の一種であるはだか麦を使用して商品展開をしています。はだか麦は、自分の力で殻を割って出てくることから名付けられた大麦で、外皮のないままに収穫できるのが独自の特徴です。そしてその食べ方について試行錯誤した結果、生まれたのが、丸ごとはだか麦本来の美味しさが伝わる「玄麦」で食べるという発想です。この展示では、この玄麦の状態からパフ化し、4月1日から発売する朝食におススメの「ヌードグラノーラ」を中心にご紹介します。気軽に美味しく食べて健康になれる新しい麦食の提案です。

【展示内容】

- 1) 讃岐はだか麦本舗 商品紹介
- 2) ヌードグラノーラ、押麦・丸麦・玄麦、焼酎裸麦
- 3) グラノーラのレシピ紹介
- 4) 讃岐はだか麦本舗 活動紹介
- 5) 「はだか麦のミニ講座」の実施

◆ 讃岐はだか麦本舗 ◆

明治21年創業の香川県の歴史ある精麦会社である高畑精麦株式会社が2014年に大麦の一種であるはだか麦のPRを目的に立ち上げたブランドです。1児の母でもある店主の高畑実代子さんが、素朴なはだか麦の魅力を活かした手軽に美味しく食べられる麦食の提案を目指し、日々奮闘しています。東京の展示会にて大好評を得て、地元・香川県でもマルシェに参加する等、地域に根ざした活動も実施中です。

<http://www.hadakamugi.jp>

－開催概要－ はじめてのはだか麦展 2016

会 期：2016年5月4日（水）～5月31日（火）
 10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料
 会 場：monova gallery
 東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階
 主 催：讃岐はだか麦本舗

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

滋賀麻工業株式会社 主催
「shigaasa展 ～麻と暮らす2016～」を開催！

2016年6月2日（木）～2016年6月14日（火）

見た目にも肌触りも爽やかな麻素材の寝装具で、気持ち良い生活をサポート！
避けられない蒸し暑さとうまく付き合う、麻製品をご紹介します。

 Shigaasa

日本の夏に天然の麻を

特許素材の麻わたを使った寝具などをご紹介します

リネンやラミーなどの麻素材は、日本の蒸し暑い夏にはもってこいの天然素材です。吸放湿性が高く、汗をかいてもサラリとするほか、接触冷感することもその理由です。この展示では、麻繊維の加工を得意とする滋賀麻工業のオリジナルブランド「shigaasa」の商品をご紹介します。滋賀麻工業が開発した特許素材の「麻わた(a-sarari)」を使った寝具類のほか、近江ちぢみの寝具、また日常で気軽に使えるカラフルなハンカチ、クッションカバー、新作となるチェアマット、サマーブランケットなども紹介します。

【展示内容】

シーツ、ベットカバー、ピローケース、パット、
近江ちぢみハンカチ、クッションカバー、チェアマット、サマーブランケット

◆Shigaasa 紹介◆

Shigaasaは、近江を本拠とし約70年の歴史を持つ麻織物メーカー・滋賀麻工業(株)が展開する麻製品ブランドです。麻は、独特の肌触りがあり、使えば使うほどに風合いが出てくる天然素材。Shigaasaでは、厳選された麻を使用した寝具、リビング用品、日用雑貨などを通じて、麻のある上質な暮らしを提案しています。

<http://www.shigaasa.jp>



－開催概要－ shigaasa展 ～麻と暮らす2016～

会 期：2016年6月2日（木）～6月14日（火）
10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料
会 場：monova gallery
東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階
主 催：滋賀麻工業株式会社

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

株式会社榎田商店 主催
「織物屋がつくる傘・日傘展」を開催！
 2016年6月16日（木）～2016年6月28日（火）

今年創業150年を迎える、山梨県・郡内織物(甲州織)メーカーの榎田商店。
 先染から生まれるこだわりの生地で作る、傘・日傘とレイングッズをご紹介します。



伝統と革新の職人技で、気持ちと目線を上向きにする
晴れの日も雨の日も出かけたくなる
レイングッズと日傘

今年で4回目となる織物屋・榎田商店の傘・日傘展。「もったいない」、というすばらしい言葉をキーワードに、日本の風土に根差した文化を大事にしたものづくりを考えています。江戸時代から培った織物技術を、傘生地作りや服生地作りに昇華させ、その織物技術を活かした雨傘・日傘づくりをしています。本展示会では、新製品「fusion」と昨年人気を博した「菜-sai-」シリーズをメインに、空模様が変わりやすいシーズンも楽しく過ごせるレイングッズをご紹介します。

【展示内容】

新製品「fusion」

創業150周年を迎えるにあたり、今までにない新しいチャレンジを試みました。山梨から世界に発信している子供服アパレルのfrankygrowをデザイン監修に迎え、立ち上げたシリーズ、それが「fusion」です。江戸時代から脈々と受け継がれてきた先染織物の技術と、frankygrowの「simple pop」なデザイン。一見、水と油のようにも思える榎田商店とfrankygrowの化学反応を、ぜひ体感ください。

「菜-sai-」(H27年度やまなし産業大賞ものづくり大賞部門優秀賞受賞)

傘生地では使う事がタブーであったストレッチ糸を用いて、生地に伸縮性のある日傘を作り上げました。伸縮する糸を織りこむことにより、柔らかな波打つ表情や、ポコポコした凹凸感が、瑞々しい野菜のナチュラル感を生み出しました。太陽と楽しく付き合える日傘です。

◆榎田商店 紹介◆

創業1866年。山梨県にて甲斐絹織物卸業として事業を始める。生地作りにおいて最適な規格製造のノウハウ、様々なデザインからの展開力、また自由な織柄を織る事ができる特殊な織機を保有。傘は、自社職人により作られており、国内では例を見ない、デザイン・生地製造・製品製造の一貫生産をとっており、山梨県郡内織物産地の『歴史・新しい技術・匠の技の融合』により作られている。

<http://www.makita-1866.jp>

—開催概要— **織物屋がつくる傘・日傘展**

会 期：2016年6月16日（木）～6月28日（火）

10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：株式会社榎田商店

鯖江ギフト組 主催

「鯖江のサングラス・リーディンググラス・ルーペ展」を開催！

2016年6月30日（木）～2016年7月12日（火）

お客様に喜ばれるもの創りを主眼に活動する鯖江ギフト組。
退職祝いや還暦祝いなど、ギフトで喜ばれる眼鏡製品をご紹介します。

見る・視る・魅る、“みるコト”を発信

眼鏡のまち・鯖江が贈る、大人の愉しみ

日本が世界に誇る逸品として知られる鯖江の眼鏡。今回は、眼鏡部品メーカーが有志で集まり活動を続ける“鯖江ギフト組”から、代表的な2社をご紹介します。『みるコト』は知識を得て世界を広げるコト。「いくつになっても素敵にカッコよく」をテーマに、大人の愉しみをご提案します。

【展示内容】

1) オールタイムサングラス(乾レンズ)

紫外線から瞳と目元を守り、いつでもどこでも日常的に使えるように考えられた、眩しさを軽減するサングラスです。限りなく薄い色(透明に近い)のに紫外線を99%以上カットという、独自に開発した特許技術レンズを使用しています。

2) ペーパーグラス(西村プレジジョン)

厚さ2mm。葉のように本などに挟める薄型で、軽量、コンパクトなデザインが特徴です。機能面も譲らず長財布にも収まるスリムさは、携帯にも便利で信頼のおける存在。たたむ時の優越感、開いた時の至福と、一連の動きを見て驚く相手の方と感動を共有できる、楽しくて美しい老眼鏡です。

※2013年度グッドデザイン賞BEST100受賞、2014年度アジアデザイン賞ブロンズ賞受賞、2016年度おもてなしセレクション金賞受賞

3) Cha.T.Re 各種ルーペ(乾レンズ)

ご自宅で、外出先で、気軽にそしてお洒落に使用できるローネットグラス(手持ちメガネ)や携帯ルーペ等。高い眼鏡加工技術を誇る鯖江で生み出される、さりげないグラスグッズはギフトに最適です。

◆鯖江ギフト組 概要◆

鯖江ギフト組は2009年に眼鏡部品メーカーが有志で集まった委員会。メーカーとして蓄積してきた技術でファクトリーブランドを立ち上げ、お客様に喜ばれるもの創りを主眼に活動しています。http://sabaegift.jp/

◆乾レンズ / 昭和28年よりサングラスレンズを主として生産、販売を実施している鯖江のメーカー。紫外線ケアの観点から、独自に開発したハイドレンズを2003年に開発。2010年には、特許を取得した。専門店や通信販売などの販売を中心に乾レンズのサングラス愛用者を増やしている。シミ、こじわ対策を意識する女性にも愛用者が多いのも特徴。http://www.inuilens.com/kojin/

◆西村プレジジョン / 創業1968年の眼鏡部品メーカー・西村金属のグループ会社で、中国への貿易会社、営業販社として1993年に創業。現在も精密部品卸の貿易事業を継続しながら「ペーパーグラス」の企画・製造・販売を行っている。https://www.paperglass.jp/

—開催概要— 鯖江のサングラス・リーディンググラス・ルーペ展

会 期：2016年6月30日(木)～7月12日(火)

10:30 - 19:00 / 最終日は17:00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：鯖江ギフト組



2



3



3



有限会社ツルヤ商店 主催
「Hile<ハイル>展 ~やわらかに寄り添う、籐家具~」を開催！
 2016年8月13日（土）～2016年8月30日（火）

これまでの古風な籐製品のイメージを刷新！
 北欧テイストの空間にも寄り添える、フレッシュな籐家具をご紹介します。

明治末期創業・山形ツルヤ商店の新作を首都圏初披露

今の暮らしに合わせた小ぶりの籐家具

昭和40年代から50年に掛けて温泉旅館で使われ始めたことに端を発し、一般住宅にも広がっていった籐家具。そのいわば籐家具ブームの頃から、東南アジアの製品が多く出回るようになっていきました。そんななかでも明治末期創業の山形の名店・ツルヤ商店は職人の手仕事にこだわり、時代に流されず、また、時代のニーズに応えながら国産の籐家具を作り続けてきました。今回の展示では、ツルヤ商店の新作である小ぶりの籐カゴをご紹介します。素材を吟味し、籐の素肌が美しく、そしてしなやかで軽量の“ちょうどいい籐かご”です。

【展示内容】

ツルヤ商店の新作 Hileシリーズ・・・乱れかご、脱衣かご、脚付かご

Hile<ハイル>シリーズは、小ぶりの籐のかごです。昔から親しまれてきた籐かごのディテールはそのまま、今の暮らしに馴染むサイズに施しています。ソファの横やベッドサイド、洗濯物の上、テーブルの下、身近な場所にちょこんと置いて、ブランケットやタオル、雑誌やおもちゃなど身の回りのものをおおらかに収納します。

【デザイナー：小野里奈】

宮城県生まれ。1997年東北芸術工科大学デザイン工学部生産デザイン学科卒業後、設計事務所勤務などを経て2001年東北芸術工科大学芸術工学研究科修了。デザイン工学修士。同年スウェーデン国立芸術工芸デザイン大学に留学。

2002年から東北芸術工科大学デザイン工学部プロダクトデザイン学科助手を勤め、2007年秋よりフリー。主な受賞歴「2004年富山プロダクトデザインコンペティション グランプリ」「2005年コクヨデザインアワード 審査員特別賞」「2006 MUJI AWARD 01 銅賞」など。

◆有限会社ツルヤ商店◆

有限会社ツルヤ商店は、明治40年に「会田ツル細工店」として創業しました。当時は、アケビなどのツル植物を素材に使った製品を手がけていましたが、その後、安定的に入手できる籐素材にシフトして家具製造を行い、現在では数少ない国産にこだわった籐家具メーカーとして知られています。天然素材である籐を活かし、時代の声に耳を傾けながら、確かなものづくりを届けています。

<http://www.tsuruya-net.com>



Hile



—開催概要— Hile<ハイル>展 ~やわらかに寄り添う、籐家具~

会 期：2016年8月13日（土）～8月30日（火）

10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：有限会社ツルヤ商店

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>